



社会福祉法人

広報

静岡いのちの電話50号

良寛の夢

静岡いのちの電話理事長 中井弘和

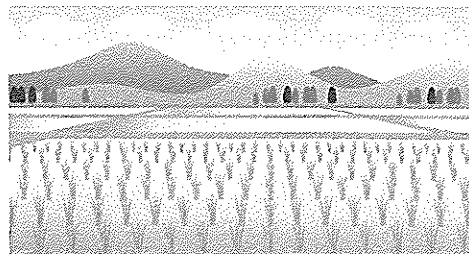
八幡の森の木下に子供らと遊ぶ夕日のくれま惜しかな

良寛が子供たちとひがな手毬をつき遊び、夕暮れ時、彼らとの別れを惜しんで歌ったものです。八幡は新潟県三条市の八幡神社のことで、わたしが三条市郊外の越後平野の片隅に田圃を借りて稲の育種を始めてから14年になります。田圃からは遠く山が連なり、その一角に良寛が永く庵を結んだ国上山（くがみやま）が見えます。良寛は僧籍をもたず乞食をしながら、自然や人と交わり無為自然に生涯を全うした人として知られます。

越後平野は日本有数の穀倉地帯であることは誰もが知っています。しかし、かつて当平野は米の生産には全く不向きな土地柄でした。信濃川はじめ大川がひしめく平地は常に洪水に襲われ、腰まで水に浸かっての収穫を余儀なくされたそうです。いきおい、米の収穫量は非常に低く、当地の人々は極貧の暮らしに苦しんでいました。良寛が時を惜しまず子供たちと遊び、遊女たちの話し相手になった背景には貧しい人々に共感し寄り添う深い心情があったのです。

越後平野は、信濃川大河津分水路の建設工事（明治42年～昭和6年）が完成することによってようやく河川氾濫は治まり、日本の代表的な米どころになった経緯があります。その一角で良寛の心を感じながら育種に取り組み、ようやく自然農法においても収量が上がる新品種が生まれつつあることを嬉しく思っています。

折から、世界はコロナパンデミックや気候変動による異常災害、果てはロシアのウクライナ侵攻に翻弄されています。人類の危機に直面して、わたしたちはなすことを知らず佇むばかりです。その暗闇の世に遥か良寛の貧しく悲しむ人々に寄り添う志がほのかな灯となってわたしたちを勇気づけてくれます。わたしたち「いのちの電話」は良寛の夢を引き継ぐものでありたいと願っています。



聴かせてください ひとりで悩まずに

相談電話 054-272-4343
しみじみ
 相談時間 年中無休 12:00~21:00

24時間、隣にいます。

心の痛み、話せる電話です。

自殺予防 いのちの電話

0120-783-556

毎月10日 8:00~翌日8:00
 (24時間・無料です)

いのちの電話

ナビダイヤル

0570-783-556

年中無休 10:00~22:00

2021年度事業報告

1 電話相談員

(1) 相談員の状況

静岡いのちの電話相談員は2022年1月現在、相談員数は77名、休務者を除く実相談員数は62名（男性18名、女性44名）である。

(2) 相談員の研修

全相談員を対象に相談員継続研修を実施した他、個人スーパービジョン研修、自己啓発研修を行った。なお、相談員全体研修はコロナ感染防止のため2回とも中止を余儀なくされた。

(3) 相談員の支援

新たな相談員や困難な相談を受けた相談員を支援するために、「ささえあい活動」などを実施したほか、急用で電話相談ができなくなった人をフォローする「お助け隊」が相談員の支援に活用された。

2 受信状況（暦年）

(1) 電話受付件数と自殺傾向相談電話

2021年の受付件数は9,004件と前年（8,866件）に比べ増加した。うち自殺傾向の相談電話は581件で、6.5%となっている。（※受付件数の年代別内訳、相談内容別内訳はグラフ参照）

(2) フリーダイヤル、インターネット

（全国共通、静岡分）

フリーダイヤル受付件数は228件（前年290件）、うち自殺傾向は40件（前年59件）であった。インターネット相談件数は144件（前年110件）うち自殺傾向は43件（前年49件）であった。

3 相談体制の環境整備

コロナ禍における相談体制の環境整備を前年に引き続き実施し、エアコン、空気清浄機、換気装置、発熱検知器等を、静岡及び三島分室に設置した。

4 公益事業

(1) 電話相談カードの配布・ポスターの掲示

中学生を主な対象とし、悩みの相談を促す電話相談カードを72,000枚作成し、夏休み前に配布した。

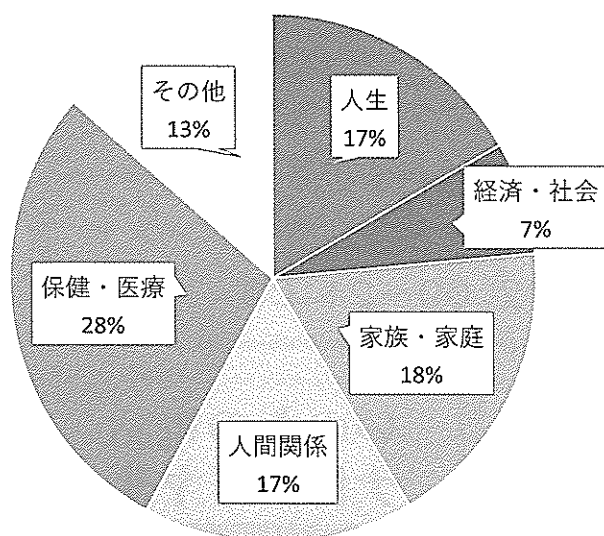
(2) 講演会・映画会

2022年1月に、赤い羽根いのちをつなぐ「静岡いのちの電話」三島講演会（講師：内藤いづみ先生）を実施し、90名が参加した。10月に予定した市民公開映画会、2月の「静岡いのちの電話自殺予防公開講演会」はコロナ感染拡大のため中止した。

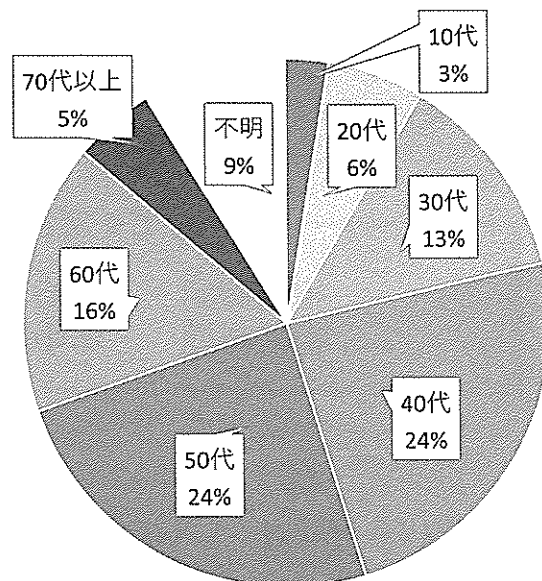
5 広報事業

6月及び12月に広報誌を発行した。

2021年受付件数の相談内容別割合



2021年受付件数の年代別内訳



社会福祉法人 静岡いのちの電話 2021年度決算報告書及び2022年度予算

貸借対照表

2022年3月31日現在 (単位:円)

資産の部		負債及び純資産の部	
科目	金額	科目	金額
[流動資産]	13,705,487	[流動負債]	0
現金預金	10,748,487	預り金	0
未収金	2,957,000	前受け金	0
[固定資産]	19,232,117	[固定負債]	0
基本財産定期預金	10,539,094	[基本金]	10,539,094
器具及び備品	2,106,083	[国庫補助金等特別積立金]	1,452,208
権	76,440	[施設設備整備他積立金]	6,510,500
ソフトウェア	0	[次期繰越活動増減差額]	14,435,802
施設設備整備他積立資産	6,510,500	(内:当期活動増減差額)	(1,021,750)
合計	32,937,604	合計	32,937,604

事業活動・資金収支計算書

(単位:円)

事業活動計算書			
区分	2021年度決算	2020年度決算	
科目	金額	金額	
[サービス活動増減の部]			
会費収益	2,882,000	2,756,825	
電話相談事業収益	5,746,009	6,895,855	
経常経費寄附金収益	2,522,636	2,268,058	
その他の収益	0	0	
サービス活動収益計(1)	11,150,645	11,920,738	
人件費	2,855,901	2,644,846	
事業費	4,015,207	3,217,354	
事務費	2,942,572	3,794,761	
減価償却費	705,962	395,464	
国庫補助金等積立金取崩額	▲ 390,320	▲ 108,550	
その他の費用	0	0	
サービス活動費用計(2)	10,129,322	9,943,875	
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	1,021,323	1,976,863	
[サービス活動外増減の部]			
受取利息配当金収益	429	1,656	
その他の収益	0	2,200	
サービス活動外収益計(4)	429	3,856	
サービス活動外費用計(5)	0	0	
サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	429	3,856	
経常増減差額(7)=(3)+(6)	1,021,752	1,980,719	
[特別増減の部]			
施設整備等補助金収益	1,599,590	0	
固定資産受増額	0	0	
特別収益計(8)	1,599,590	0	
固定資産売却損・処分損	2	1	
国庫補助金等積立金積立額	1,599,590	0	
特別費用計(9)	1,599,592	1	
特別増減差額(10)=(8)-(9)	▲ 2	▲ 1	
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	1,021,750	1,980,718	
[繰越活動増減差額の部]			
前期繰越活動増減差額(12)	13,914,052	12,733,334	
その他の積立金取崩額(14)	0	0	
その他の積立金積立額(13)	500,000	800,000	
次期繰越活動増減差額(1)=(12)+(14)-(13)	14,435,802	13,914,052	

資金収支計算書			
区分	2021年度決算	2022年度予算	
科目	金額	金額	
[事業活動による収支]			
会費収入	2,882,000	2,660,000	
電話相談事業収入	5,746,009	6,186,000	
経常経費寄附金収入	2,522,636	2,460,000	
受取利息配当金収入	429	2,000	
その他の収入	0	0	
事業活動収入計(1)	11,151,074	11,308,000	
人件費支出	2,855,901	3,486,000	
事業費支出	4,015,207	4,595,000	
事務費支出	2,942,572	3,819,000	
その他の支出	0	0	
事業活動支出計(2)	9,813,680	11,900,000	
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	1,337,394	▲ 592,000	
[施設整備等による収支]			
施設整備等補助金収入	1,599,590	0	
施設整備等寄附金収入	0	0	
施設整備等収入計(4)	1,599,590	0	
固定資産取得支出	1,912,900	0	
固定資産除去・廃棄支出	0	0	
施設整備等支出計(5)	1,912,900	0	
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	▲ 313,310	0	
[その他の活動による収支]			
積立資産取崩収入	0	800,000	
サービス区分間繰入金収入	0	0	
その他の活動による収入	0	800,000	
その他の活動による収入計(7)	0	800,000	
積立資産支出	500,000	0	
サービス区分間繰入金支出	0	0	
その他の活動による支出計(8)	500,000	0	
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	▲ 500,000	800,000	
予備費(10)	0	208,000	
当期資金収支差額(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	524,084	0	
前期末支払資金残高(12)	13,181,403	13,181,403	
当期末支払資金残高(11)+(12)	13,705,487	13,181,403	

財産目録

2022年3月31日現在 (単位:円)

科目	金額	科目	金額
[流動資産]	13,705,487	ソフトウェア	0
現金預金	10,748,487	権	76,440
未収金	2,957,000	施設設備整備他積立資産	6,510,500
[固定資産]	19,232,117	[流動負債]	0
基本財産定期預金	10,539,094	[固定負債]	0
リコーサテリオ A411 G印刷機他	2,106,083	差引純資産	32,937,604

上記について監事監査の結果 適正であることを認めます

2022年5月5日

監事 山田英幸

印

青嶋亨

印

2022年度事業計画

1 概要

2021年に再び減少に転じた全国の自殺者数が、今後も段階的に減少していくことを目指し、国、県、市等の公共機関と連携して各種事業を展開し、自殺防止に努めていく。

2 事業計画

(1) 電話相談員

① 相談員の拡充

2022年度には第21期生3名が相談員として認定される予定であるが、2021年度に開始した第22期生（現在21名）の認定は2022年度末となる見込み。このため第23期生の募集、研修開始を速やかに進める。

② 相談員の研修

7グループで相談員継続研修を実施する他、個人スーパービジョン研修、自己啓発研修、相談員全体研修を行う。

③ 相談員の支援

新たな相談員や困難な相談を受けた相談員を支援するために、「ささえあい活動」などを積極的に活用し相談員の支援を行う。

(2) 受信状況

① 受信件数と自殺傾向相談電話

2021年の受信件数は前年に比べ増加したが、全体的には長期的に減少傾向にある。この原因は登録相談員の漸減によるものであり、相談員活動の環境整備をさらに進め、休務者を減らし、相談枠を確保することにより受信件数を増加に転じていく。

② フリーダイヤル、インターネット

(全国共通、静岡分)

日本いのちの電話連盟と連携しながら、件数の増加に努めていく。

(3) 相談体制の環境整備

コロナ禍における相談体制の環境整備を静岡、三島分室とも引き続き実施し、相談員の健康管理に努める。

(4) 公益事業

① 電話相談ポスターの掲示・カードの配布

赤い羽根共同募金の助成を受け、ハローワーク、公民館などにいのちの電話呼びかけポスター500枚を配布する。

② 講演会・映画会

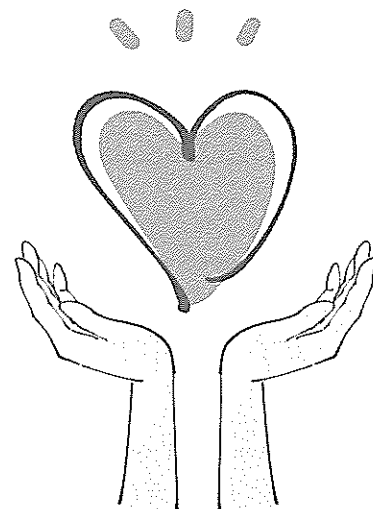
2021年度に実施できなかった「市民公開映画会」、「静岡いのちの電話自殺予防静岡講演会」を計画的に実施する。

③ 会員・寄付金の拡充

広報誌、新聞等のマスメディア、関係者のクチコミ等により、社会福祉法人静岡いのちの電話の存在をPRすることにより、会員数、寄付金額の増加を目指す。

(5) 広報事業

6月及び12月に広報誌を発行し、会員及び関係者の交流と情報共有を図るとともに、関係機関（公共・民間）に情報提供をする。



資金ボランティアの皆様

心温まるご支援ありがとうございました。

2021年4月1日から2022年3月31日までに会費や寄付などのご協力をいただいた皆様は次のとおりです。心より感謝申し上げますとともに引き続きよろしく願いいたします。

なお、会員、会費の管理には細心の注意を払っていますが、記載漏れ等がありましたらお手数ですが事務局までお知らせいただきますようお願いいたします。

個人会員

相川 好江	遠藤百合子	櫻井 康夫	竹内 俊明	萩本 鉄	松永 修
青木 清高	大石喜一郎	佐野 牧夫	竹内 雅子	萩原 正巳	溝口 康博
青木 賢吾	太田 由実	佐野 稚子	竹安 卯起	濱 美知子	三村 恵子
青木 章一	大塚 幸子	塩津美代子	多々良 茂樹	林 のぶ	宮川紀代美
青木 直子	大戸 宏文	品田 恭子	田中 久子	原 邦子	宮城島 豊
青木 範子	緒方 弥生	篠原 幹男	谷津 静枝	原 直美	宮崎起世子
青島加代子	岡村 宏枝	柴山 恭子	田原小夜子	原田 貴之	宮崎 典子
青島 敏江	尾崎千恵子	嶋田佳代子	田平 育代	兵頭 正敏	村松美保子
青柳 恵子	小澤 文郎	杉浦 陽子	土屋 貢	平岡 宏子	初山千恵子
赤井佳壽子	笠原 恵子	杉本 昌豊	都築 恵	平岡美佐江	守屋 明
赤木 桂子	梶山 幸子	杉山美和子	寺尾 文子	平野加代子	八東 正彦
秋野 征子	勝又 秀子	鈴木 昌裕	戸嶋 光子	福島 浩	山岸美智子
浅井 順子	勝見 拡美	鈴木 孝治	戸塚 弘道	福島 泰子	山口 芳枝
浅倉さち子	河守 博一	鈴木 武	外岡 長城	福家 公子	山崎 勲
浅野 加子	木田 文夫	鈴木 直子	内藤美代子	藤井 陽子	山田 英幸
天野 靖子	木村 聰	鈴木 英夫	永井 滋乃	舟貝 敏行	山田 浩子
新井 文子	櫛田 勝朗	鈴木 昌規	中井 弘和	船城 眞理子	山田 美子
飯塚美智子	櫛田 節子	鈴木 めぐみ	長嶋 益子	古橋 聡一	山本 嘉子
伊澤 律子	久保田一枝	外田 耐子	長濱 浩代	古屋 弘子	吉岡 秀規
石井 広美	久保田愛子	外田 雅樹	中山 秀子	前澤 陽子	吉田由貴子
石岡 治江	黒沼 宏一	高木 直子	南 莊 和明	真覚 眞由美	吉田 和子
石上 俊二	神瀬 眞一	高橋 正	西尾 秀子	増井 悦子	吉野 誉子
伊藤 豊子	古賀 文彦	田口 博之	野村 諒子	増井 均	匿名 2名
稲毛 智恵子	小林 敏好	武井 陽一	芳賀 美江	松浦 和子	

団体会員

(株)アイテック	(株)共栄設機	(株)清水銀行	宗教法人宝台院
愛徳カルメ修道会	佐藤燃料(株)	鈴与(株)	宗教法人法伝寺
いなば食品(株)	(株)山恭製紙所	すだ医院	(株)ホテイフーズコーポレーション
SUS(株)	(株)静岡銀行秘書室	田代クリニック	(株)マキヤ
カトリック草薙教会	(株)静岡銀行本店営業部	てらだ医院	(株)村上開明堂
(株)川崎宣弘社	静岡県司法書士会	(株)TOKAI ホールディングス	医療法人社団やきつべの径診療所
菅野医院分院	静岡県民共済協同組合	はごろもフーズ(株)	
木内建設(株)	(株)静岡新聞社	医療法人社団原医院	
(株)木村鑄造所	静岡放送(株)	藤枝礼拝堂女性会	

特別寄付（個人）

青木 恵子	大石 節子	清水紀代子	塚本 雅子	芳賀 美江	村越 信子
青嶋 亨	太田 由実	榛葉 和美	粒木 有一	林 のぶ	守屋 明
青山 春子	大戸 宏文	杉本 光子	栩木 陽子	原科 洋子	山崎 邦子
浅井 悠	興津千代子	鈴置 昌裕	戸塚 賢一	深本 悦子	山城 厚生
浅井 順子	小澤 巖	鈴木 清子	外立 昌子	福元 末男	山田 英幸
石川 正次	川井 国光	鈴木 武	中井 弘和	堀江 剛	吉住 求
伊東 園子	神田 均	鈴木 由美	中嶋 艶子	前澤 陽子	吉田由貴子
伊藤 傳治	金 承子	高須 和世	中山 仰	前島 正治	渡辺 弘子
植松 英樹	小柳千鶴子	高塚美代子	名倉慎一郎	眞壁 伍郎	薬科 正弘
宇佐美 喬	佐尾かね子	武井 陽一	南荘 和明	牧野 高子	匿名 3名
内田 育子	佐藤美智子	竹内 俊明	南荘 宏	満井 義政	
遠藤久美子	澤野まり子	竹田 昌久	南荘 正生	宮崎起世子	

特別寄付（団体）

(医)大富士病院	こばと薬局	静岡雙葉学園同窓会	日本基督教団静岡草深教会
カトリック八幡教会	(株)三 創	(有)新日邦	日本福音ルーテル栄光教会
木村クリニック	静岡英和女学院宗教部	「小さな親切運動」静岡県本部	(社福)牧ノ原やまばと学園
栗原法律事務所	静岡中央ロータリークラブ	(株)西山興業	

共同募金（課題解決プロジェクト募金）

宗教法人宝泰寺	青島 敏江	小林 敏好	新井 文子	新井 祥三
笠原 恵子	嶋田佳代子	舟貝 敏行	浅井 順子	青山 憲司
石井 広美	大戸 宏文	明比輝代彦	青木 直子	青木 光枝
青島加代子	鈴木 武	山田 美夫	守屋 明	我妻 英樹
藤井 陽子	佐野 好美	山田 浩子	飯島 敬三	緒方 弥生

改築準備積立金寄付

青木 直子	磯谷 嘉宏	久保 京子	外田 雅樹	南荘 宏	渡邊 美樹
石川 正次	笠原 純	黒田 明美	田原小夜子	増井 悦子	



●2021年度、下記の補助金・助成金等をいただきました。

感謝申し上げると共に有意義に使わせて頂きました。

① 静岡県から電話相談員研修事業費補助金	716,000円
② 静岡市から電話事業費補助金	450,000円
③ 県共同募金会から課題解決プロジェクト募金助成金	181,790円
④ 県共同募金会から新型コロナ対策支援事業助成金	301,229円
⑤ 県共同募金会から地域福祉活動支援助成金	580,000円
⑥ 日本財団からコロナ禍における自殺予防相談窓口活動支援	2,470,980円
⑦ 県から休日・夜間のこころの電話相談委託金	1,791,000円

●2021年度バザー会場、募金等のご協力有難うございました。

・事務局内常設バザー代金の寄附金

総額 22,000円



相談員認定証がお二人に授与されました

3月31日に、第21期相談員養成講座を受講され、相談員として認定されたお二人に中井理事長から認定証が授与されました（お一人は欠席のため後日事務局から授与）。コロナ禍の中、例年のような授与式ではなく事務局の一角での授与式となり少し残念ではありましたが、研修も予定通り開催されずイレギュラーな研修期間を乗り越えてこの日を迎えたお二人のご努力に敬意を表し、新たに相談員となられたお二人に大きな拍手を贈りたいと思います。

授与式の後、お二人に今の心境などについてお話を伺いました。

『認定証を受けた今の心境は？』

Aさん 認定証をいただきましたが、これからも勉強を続けていかなければと思います。

Bさん また新たな始まりと思います。

『どんな相談員になりたいですか？』

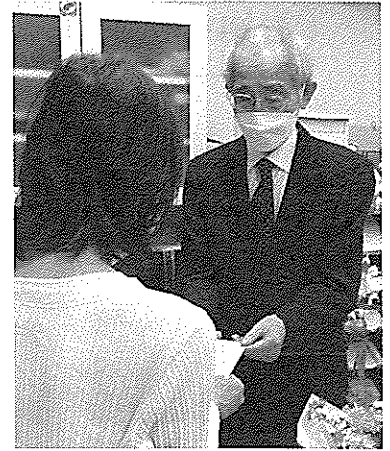
Aさん 言葉になっていない言葉をキャッチできるような相談員になれたらよいと思います。

Bさん 電話をかけてくれた方がほんの少しでも気持ちが軽くなるような存在になれるとよいと思います。

『不安なことはありますか？』

Aさん 見当はずれなことを言って相手を傷つけてはいけなないので、変なことを言ってしまったらどうしようかと思っています。

Bさん 普段出会わない人の死に対して向き合っていくことの大変さを感じるので、電話だけの関わりでどれだけ一緒にいられるのが課題と思います。



新型コロナ感染対策を実施

コロナ禍にあっても相談員は日々電話を取り続けています。感染リスクを可能な限り避け、相談員が安心して電話相談にあたることができるよう相談室等の感染防止対策を2021年4月から8月にかけて実施しました。これらの対策費用は、ほぼ全額を日本財団からの助成金により賄うことができました。改めて日本財団様に感謝申し上げます。

- ・相談室へのエアコン、空気清浄機の設置
- ・換気のための窓の設置
- ・二酸化炭素濃度計や検温、消毒器の設置 など



“赤い羽根” 新型コロナ対策
いのちをつなぐ支援事業

「静岡いのちの電話」三島講演会

1月16日(日)新型コロナ感染症の第6波の兆しがみえる中ではありましたが、最大限の感染対策のもと、三島市生涯学習センターで内藤いづみ先生の講演会が「優しさ、明るさ、強さ、そして慈しみの心でいのちに向かい合う」をテーマに行われました。

内藤先生は、山梨県で30年近く在宅ホスピスケアに取り組み、いのちに向き合う医療活動を続けています。いのち(人間)は、体・心・社会との繋がりが・スピリチュアルな大きな力、の4つで成り立つものであり、このコロナ禍の2年間で社会との繋がりが希薄になっていることを懸念されています。新しい絆を繋ぐ方法の一つとして自分の人生を振り返り、書き記しておく「いい塩梅ノート」を教えていただきました。具体的で分かりやすい話に励まされたと参加者からの声が多く寄せられました。

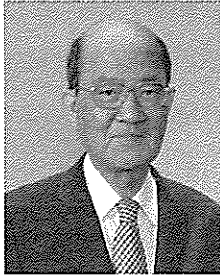




講演会のご案内 (※2月13日に中止した講演会を改めて行います。)

自殺予防公開講演会

(厚生労働省自殺防止対策事業)



「良い眠りが認知症を予防する」

～良い眠りが自殺予防にも欠かせない～

日時 2022年7月10日(日) 14:00～16:00 (開場 13:30)

会場 静岡市葵区学習センター アイセル21 ホール
(静岡市葵区東草深町3-18)

講師 精神科医 功^く刀^{めき} 弘 先生

入場
無料

※申込は、静岡いのちの電話事務局へ (電話 054-272-4344)

第23期静岡いのちの電話 相談員養成講座 受講生募集

かけがえのない「いのち」を尊重し、対話する電話相談ボランティアを募集しています。

- 【応募資格】 ①23歳から概ね65歳 (2022年8月31日現在)
 ②1年6か月間の養成研修全日程に参加できる人 (月3回程度、初年度宿泊研修2回)
 ③電話相談ボランティアとして無償奉仕できる人 (交通費も自己負担)
 ④1日24時間受信を目指しているため、夜間担当もできる人

【受付期間】 2022年6月1日(水)～8月8日(月)

【養成研修期間】 2022年10月～2024年3月 (3課程)

【養成研修受講料】 3万円 (各課程1万円) ※宿泊研修費 (約2万円) は別途

【応募方法】 募集要項をホームページからダウンロードもしくは事務局 (Tel 054-272-4344 Fax 054-255-1817) にご請求の上、必要事項を記入し、事務局へ提出してください。

私が電話相談員養成講座に応募した時のこと

私は、「主人を病気で亡くしてから寂しいよ」と、いつも友人のところに行きおしゃべりをしていました。すると、帰りにはすっきりとして元気になっていました。ある日、友人が「いのちの電話」のことを教えてくれ、「今、勉強しているけど一緒にやらない?」と誘われましたが、その時はまだ「いのちの電話」のことをよく知りませんでした。

それから5年経ち、主人のことも落ち着き始め、私も社会と関わりを持っていたい、誰かの役に立てたらいいと、友人に誘われたことを思い出し、「これかもしれない」と思い切って養成講座に応募しました。養成講座はなかなか厳しいものがありましたが、自分自身を見つめ直す良いきっかけになりました。「いのち」という言葉の重圧に負けそうになり、やめようかと思ったこともありました。今思うと、友人に元気をもらっていた私は、まさに寄り添って温かく聴いてもらっていたのだと傾聴の大切さに納得しました。しかし、それを教えてくれた友人は2年前に病で他界してしまいました。本当に寂しい限りです。大切なことを教えてくれた友人に感謝し、相談員の皆様を支えられながらももう少し電話を受けていきたいと思えます。(H.M)

編集後記

☆この道でいい? 長い旅路の果てに、きつときつと何か良いことがありますように。(T.M)

☆去年の5月、ゴーヤの一角に植えたジャスミンが、先週からネット一面に、白い可憐な花を咲かせています。ベランダを通して部屋いっぱいのジャスミンの香りに、幸せを感じます。ウクライナが早く平和になりますように! (S.H)